

各特別会計・企業会計当初予算比較

| 特別会計 | 22年度 | 21年度 |
|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 国民健康保険特別会計 | 58億9,241万7,000円 | 56億9,269万5,000円 |
| 老人保健特別会計 | 697万2,000円 | 1,910万7,000円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 5億9,882万4,000円 | 5億4,974万5,000円 |
| 介護保険特別会計(保険事業勘定) | 27億3,325万7,000円 | 26億3,983万7,000円 |
| 介護保険特別会計 (地域包括支援センター事業勘定) | 3,593万2,000円 | 3,601万6,000円 |
| 市営住宅敷金管理特別会計 | 2,520万9,000円 | 2,367万2,000円 |
| 住宅新築資金等貸付特別会計 | 8,821万8,000円 | 9,286万8,000円 |
| 下水道事業特別会計 | 10億5,223万3,000円 | 10億3,683万2,000円 |
| 企業会計 | 22年度(事業収益) | 21年度(事業収益) |
| 病院事業会計 | 39億5,796万4,000円 | 37億9,795万6,000円 |
| 水道事業会計 | 6億7,900万3,000円 | 6億7,341万4,000円 |

予算特別委員会報告

委員長 池田 光政

平成22年度の一般会計、特別会計、企業会計合計11の予算議案について、全議員による特別委員会を設け、3日間で審査した。

平成22年度予算は、財政の健全性を念頭に置き、第4次総合計画に基づく7つの政策及び22年度の重点施策推進を基本に編成されている。その結果一般会計歳入歳出総額は前年度比13.0%増の169億5,400万円である。

歳入では、市税が市民税法人分、固定資産税等の落ち込みで2億4,284万9千円の減となり、地方交付税は4億2,000万円の増、市債は臨時財政対策債等により3億180万円の増となっている。

市税等の歳入が落ち込む

中「21年度国庫支出金は補正額等入れると大幅に増額されたが、22年度予算ではどうなっているのか」との質問に「子ども手当分として7億1,300万円が増えている。景気低迷で税徴収は厳しいとみているが滞納分の徴収等頑張っていく」との説明があった。

歳出では「今年度から子ども手当の支給が始まるが、昨年の定額給付金は世帯主へ支払った。今度はその支払いはどうなるのか」との質問に「詳細はまだはっきりしないが、世帯主という事ではない。実際に養育している人に現金または口座振込にて支給される」との説明があった。また、平成23年3月に開通する新幹線について「20億円以下という事だったが出来る目途は立ったのか」との質問に「着々と工事は進んでおり費用もその範囲内で大丈夫だ」との説明があった。

その他校区コミュニティ、学童保育補助金、プレミアム商品券補助など活発な質疑がなされた。特に筑後地区解放会館運営費補助金について、宣伝カーを購入す

るための支出は不適切であるということから、この補助金を削減し予備費へ組み替える修正案が出された。修正案については賛成少数で否決となり、原案について賛成多数で可決された。

特別会計8議案、企業会計2議案については、地域デイサービス事業、包括支援センター相談事業など質問があり、その中で病院事業への一般会計からの繰入基準について「市財政当局はきちんとしたとのことだが病院側は全国平均並みと判断されたか」との質問に「額はまだまだ多く欲しいが両者で十分協議した基準に基づいている」との説明があった。採決の結果すべて原案可決となった。



工事が進む新幹線筑後船小屋駅